

対象地域：熊本県

再生課題：二次的草原の維持再生とその利活用



あ そ そう げん 阿 蘇 草 原 再 生 協 議 会

再生 目標

草原の恵みを持続的に活かせる仕組みを現代に合わせて創り出し、かけがえない阿蘇の草原を未来に引き継ぐことを目指す。

- 事務局
環境省九州地方環境事務所
- 対象地域
熊本県阿蘇郡南阿蘇村、小国町、南小国町、
産山村、高森町、阿蘇市、西原村、山都町
の一部（旧蘇陽町）
- 協議会：H17. 12. 2 設立
- 全体構想：H19. 3. 7 策定（第1期）
H26. 3. 13 策定（第2期）
R 3. 11. 25 策定（第3期）
- 実施計画：H21. 3. 4 策定（野草地）
H25. 3. 12 変更（野草地2期）
H23. 3. 10 策定（草原湿地）
R6. 3 策定（野草地3期）
(R6. 3現在)



阿蘇の草原は、東西約18km、南北約25km、周囲100km以上に及ぶ世界最大級のカルデラ地形の内外に広がっています。この草原は人々が長い間利用することによって成立したものであり、人々が生活や農畜産業のために手を入れることにより維持され、草原景観と多様な動植物が生息・生育する豊かな草原環境が守られてきました。

しかし、農業形態や生活様式の変化などにより、草原維持のための一連の作業を行うことが困難になり、草原面積の減少や荒廃が目立つようになりました。

このため、長い間草原をうまく利用することにより守られてきた草原環境を保全・再生・維持管理し、次世代へ引き継ぐための取組を進めています。

自然再生の手法

- 草原の牧野利用の維持管理
- 草原環境の保全
- 草原学習の実施
- 野草の多様な資源利用の促進
- 草原の適正な観光利用の検討
- 草原保全のための支援体制の構築



オオルリシジミ（撮影：寺崎昭典）



ハナシノブ



輪地切りの作業



野焼き風景